

令和2年、今年もいよいよ終わりに近づきました。6月から通常授業が再開されましたが、コロナ禍の遅れを取り戻すために、土曜授業や7時間授業などが増え、逆にさまざまな行事が中止になったり、延期になったり、縮小されたりしました。こういう状況の中でも長吉中のみなさんは前に一歩も二歩も成長し続けてくれたと思います。

修学旅行、長吉スポーツデイ、文化発表会、各学年での取り組み、生徒会活動、学級活動、そして部活動とこの一年を少し振り返ってみてください。

「ああ、あの時自分はこんなことをがんばれたなあ」、「あれができて自信がついた」、「仲間としっかり協力できたなあ」、「人の役に立つことが少しできたなあ」など、【自分で自分をほめてあげたい】ことはどんなことがあるのでしょうか？今年一年がんばってきた君たちだから少なくみても2つ3つ挙げられるのではないのでしょうか。それを以前の集会でも言った『自分ノート』に、作っていない人は『心の自分ノート』に、しっかり記して自分の自信につなげて行って欲しいと思います。

しかし、逆に何かで失敗し叱られたり指導を受けたりした人もいます。その人には「失敗はそれだけ成功に近づいている」という言葉を送ります。発明王で有名なエジソンは【人生に失敗した人たちは自分が失敗した時にどれだけ成功に近づいていたかに気づかなかった人だ】という言葉を残しています。失敗するという事は成功がすぐ近くにあるということです。ここであきらめるか、続けるかでその後の人生は大きく変わります。

また、悲しい出来事に出会った人もいます。その人には「優しい人になるためには、何度も悲しみが必要です」という言葉を送ります。みなさんの心にまかれたいろいろな種は、涙という水をかけられてこそ大きくたくましく育ち、花を咲かせるのです。

また、何かで負けた経験をした人もいます。その人には、「負けた経験はいつの日か必ずあなたの大きな財産となる」という言葉を送ります。負けた時にしか見れない景色というものがあります。その景色、つまり悔しさ・無念さを知っている人と知らない人では心の強さが違います。さらに負けても負けても努力し続ける人には、必ず運命の女神が偶然という橋を架けて勝利に導いてくれるものです。

このように自分をほめてあげたいと思えた人も、失敗や悲しみや悔しさを経験した人も、それが自分の心を鍛え、前進していく力になっていくのです。

そして、これらの経験には、学校では先生方をはじめ管理作業員さん、事務職員さん、また、地域の方々、保護者と、さまざまな人が陰になり日向になり関わ

ってくれたはずです。それらの人々をはじめ、すべての人々に感謝の心を忘れず「ありがとう」と言ってこの一年を締めくくってほしいと思います。

明日から冬休みに入ります。引き続き感染症予防に努めながら、一日一日を大切に過ごしてください。では良い年を迎えてください。